

● 「山中座」四季・曼荼羅 ●

「山中節」を舞台で唄い継いできた山中温泉の芸妓衆に、現代屈指の舞踊家・森繁哉が率いる気鋭のダンサーたちが加わり、山中温泉の幽玄な四季の移ろい、温泉地を舞台にした人々のドラマが一編の絵巻のように展開する舞踊劇を演じる。各舞台公演終了後に山中座広場で「こいこい踊り」を行う。

「山中座」舞踊曼荼羅

3月20日(木・祝) 17:30～(70分程度)

モダンダンス、新派舞踊、田楽舞踊、日本舞踊のジャンルの異なる4人の舞踊家が「山中温泉の四季」を一編の舞踊絵巻として表現。クライマックスでは山中芸妓衆が唄い、踊りあげる。

詩劇「四季の舞」

3月22日(土)、23日(日) 17:30～(40分程度)

「山中座」芸妓衆の「四季の舞」を映像と音楽、詩朗読のコラボレーションによって再構成。伝統と現代が結びついた山中座の新しい舞台芸術。

会 場：山中座ホール
鑑賞料金：各回 大人1,000円/小中高生500円
演 出：森繁哉
出 演：森繁哉、佐藤正一(3月20日のみ)、松村知紗、山中芸妓、山中座座員
【舞台美術・空間美術】中野聡子 【舞台製作】古賀学



● エナジー風呂フィルムフェスティバル ●

40℃を超える湯温はリラックス効果よりもエナジーUPが期待されると言われ、山中温泉も例外ではない。本フェスティバルでは、山中温泉の1年をとらえたカン・タムラによるドキュメンタリー『YAMANAKA』をはじめ、アートと温泉文化に着目しセレクトした映画や映像作品、ドラマなど6作品を上映。朝や仕事の合間の入浴に映画鑑賞を加え、さらなるエナジーUP&チャージを。

3月20日(木・祝)～23日(日)

会 場：山中座ホール
鑑賞料金：大人500円/小中高生300円
企 画：Eizo Workshop

- 上映作品(上映日時は裏面参照、詳細は公式サイトにて)
- A 『YAMANAKA』 カン・タムラ 2025年、120分(予定)
 - B 『砂の女』 勅使河原宏 1964年、147分
 - C 『山中温泉こおろぎ橋殺人事件』 伊藤憲二 1995-2000年、120分
 - D 『Kappa』 ブルース&ノーマン・ヨネモト 1986年、26分[R18]
 - E 『能登半島 - Noto 2017』 エディット・ユート 2024年、60分
 - F 『U-zhaan & Ryuichi Sakamoto feat. 環 ROY× 鎮座 DOPENESS 「エナジー風呂」』 馬場一萌(監督) 2019年、5分



● ワークショップ&マルシェ ●

ものづくりと交易の山中温泉を味わう。ワークショップでは自然素材にこだわった個性的なものづくり体験をご用意。山中漆器の木くずや「訳あり木地」を使う苔玉やリースづくりから、伝統の「我谷盆」をつくる1日がかりのワークショップまで。マルシェは約45店舗がこだわりの飲食や雑貨を提供し、温泉文化の中心地に賑わいを生み出す。

マルシェ

3月22日(土)、23日(日) 10:00～16:00

会場：菊の湯広場、山中座周辺

ワークショップ

3月22日(土)、23日(日) 9:00～17:00

会場：旧北國銀行山中支店

『苔玉制作』ワークショップ

● 1日3ラウンド(1ラウンド最大5名で90分) 料金：2,000円

『金継体験』ワークショップ

● 1日3ラウンド(1ラウンド最大5名で120分) 料金：4,000円

『木地挽き体験』ワークショップ

● 1日30ラウンド(1ラウンド1名10分) 料金：500円

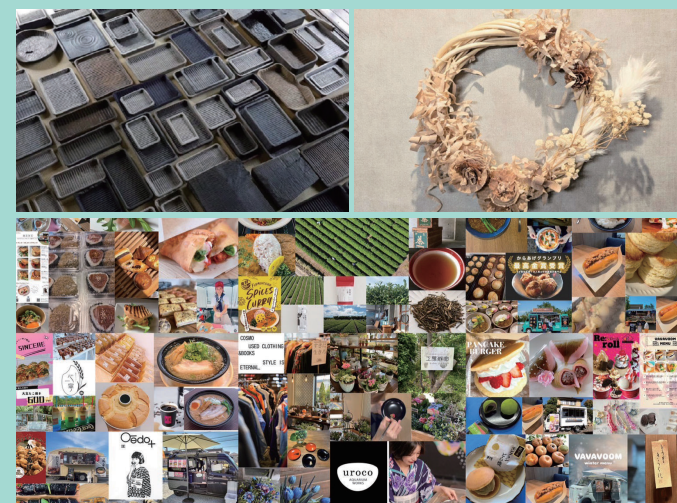
『我谷盆マネートレー』ワークショップ

● 1日1ラウンド(1ラウンド最大12名、9:30～17:00) 料金：4,000円

*昼休憩有、要事前予約(3月上旬締切)

『かんなくずリース制作』ワークショップ

● 随時開催 料金：1,000円(23日のみ)



● 山中温泉シンポジウム ●

観光、文化、経済、民俗、メディアなど多様なジャンルの有識者を招へいし、山中温泉および加賀温泉郷をケーススタディとして温泉地の課題や可能性を多面的に考察する。「温泉文化」という視点から温泉地の魅力を再構成し、将来にわたって持続可能な温泉地の在り方について議論する。山中温泉から温泉文化ルネッサンスの狼煙を上げることで各温泉地が連携し、温泉の未来を共に考える契機とする。「温泉文化」を日本の文化として次代に継承し国内外へ発信することを目指すなかで、ユネスコ無形文化遺産登録も視野に入れる。

3月20日(木・祝) 10:00～12:00

会場：山中座ホール 参加料金：無料

コーディネーター：赤坂憲雄(民俗学者)
パネリスト：石川理夫(温泉評論家) 佐々木雅幸(文化経済学者)
谷本有香(Forbes JAPAN Web 編集長)
丁野朗(日本観光振興協会総合研究所顧問)

● 山中温泉芸術散歩 ●

山中温泉街全体に点在するアート作品を手がかりに、伝統とモダンが息づくこのまちを体感する。芝山昌也、入江徳俊、上田千裕、奥村花菜、深田拓哉、丹羽啓、O33、笹井南海の8組のアーティストによる作品を山中温泉総湯広場、ゆげ街道、医王寺、長谷部神社、芭蕉の館、無限庵など温泉文化と深いつながりのある場所に設置。アートに導かれながら場所の魅力を味わうことで、山中温泉の成り立ちを見てとることができる。散策の合間には、春先の鶴仙溪の豊かな自然や地元の食と土産を堪能するのもおすすめ。菊の湯の入浴チケットが付いており、山中温泉の芸術と現代の温泉文化を楽しめる。

3月20日(木・祝)～23日(日)

会 場：山中温泉街
鑑賞料金：大人1,000円/小中高生500円
【ガイドプログラム】各日 10:00開始/13:00開始
(所要時間約1時間半) 要予約



● 食と工芸の会 DINING EXPERIENCE ●

山中温泉在住の漆芸家、更谷富造が所有する普段は非公開の古民家をリノベーションしたオークションハウスを会場として、1日限りの特別な食体験を提供。ミシュラン二つ星の名店「天ぶら元吉」で10年に渡り腕を磨き、2025年春に金沢で独立予定の「てんぶらの場」の大将的場大樹がメインシェフを務め、地元の名シェフとコラボレーションした特別なコース。ペアリングは和酒BAR緑がわの店主を務める。器には山中の作家や企業、アーティストたちの作品をふんだんに用いた、五感で山中を感じる「食と工芸の会」。

3月20日(木・祝)

①13:00～14:30 ②16:00～17:30

会 場：荒谷町古民家オークションハウス
料 金：50,000円/人
定 員：各8名[要申込]



問合せ (一社)山中温泉観光協会
予約・申込先 石川県加賀市山中温泉栢野町ハ47-1
TEL 0761-78-0330

【公式ウェブサイト】
https://www.yamanaka-spa.or.jp/art_and_culture_festival



Yamanaka Onsen Art and Culture Festival



新・山中温泉文化絵巻

小さな、はじまりの芸術祭

踊りと映画、アート散歩とマルシェの賑わい
湯のまちの五感さわめく4日間



TSUNAGU TSUNAGERU TSUNAGARU

会場：山中温泉街(石川県加賀市)

主催：新・山中温泉文化絵巻実行委員会、(一社)山中温泉観光協会
後援：石川県、加賀市、山中商工会、北國新聞社

2025, 3/20(木)祝 → 23(日)

山中温泉街 map



- 「山中座」四季・曼荼羅
- エナジー風呂フィルムフェスティバル
- ワークショップ&マルシェ
- 山中温泉シンポジウム
- ①～⑨ 山中温泉芸術散歩

プログラム参加料金

〔個別券〕

山中温泉芸術散歩 ————— 大人 1,000 円 / 小中高生 500 円
 *「無限庵」と「芭蕉の館」入館料、「菊の湯」入浴料を含む。
 全作品を鑑賞し、スタンプを埋めた方に抽選で記念品を進呈します。

「山中座」四季・曼荼羅 ————— 各回 大人 1,000 円 / 小中高生 500 円

エナジー風呂フィルムフェスティバル — 各回 大人 500 円 / 小中高生 300 円

〔セット券〕

〔山中温泉芸術散歩〕 + 〔「山中座」四季・曼荼羅〕 + 〔エナジー風呂フィルムフェスティバル〕 各1枚

大人 2,000 円 / 小中高生 1,000 円

*セット券のご購入者には、ワークショップ&座縁日で使用できる 500 円サービス券を進呈します。

〔チケット販売窓口〕 (一社) 山中温泉観光協会、山中座、山中温泉の各旅館

オンラインでもチケットを販売しております。詳細は公式ウェブサイトをご参照ください。
 荒天の際は催しが中止となる場合がありますので公式ウェブサイトをご確認ください。

3/20 (木)祝

9:00	山中座ホール	山中座周辺 菊の湯広場	旧北國銀行 山中支店	山中温泉街	荒谷町古民家 オープンハウス	9:00
10:00						10:00
11:00	山中温泉 シンポジウム					11:00
12:00				山中温泉 芸術散歩		12:00
13:00	エナジー風呂 フィルムフェスティバル 【作品A】*				食と工芸の会 DINING EXPERIENCE	13:00
14:00						14:00
15:00						15:00
16:00					食と工芸の会 DINING EXPERIENCE	16:00
17:00						17:00
18:00	「山中座」舞踊曼荼羅			夜のインスタレーション		18:00

21 (金)

9:00	【作品D】					9:00
10:00						10:00
11:00	【作品A】					11:00
12:00				山中温泉 芸術散歩		12:00
13:00	【作品C】					13:00
14:00						14:00
15:00	【作品E】					15:00
16:00	【作品D】					16:00
17:00						17:00
18:00				夜のインスタレーション		18:00

22 (土)

9:00	【作品D】					9:00
10:00	【作品A】					10:00
11:00		マルシェ	ワークショップ	山中温泉 芸術散歩		11:00
12:00						12:00
13:00	【作品B】					13:00
14:00						14:00
15:00						15:00
16:00						16:00
17:00						17:00
18:00	詩劇「四季の舞」			夜のインスタレーション		18:00

23 (日)

9:00	【作品D】					9:00
10:00						10:00
11:00	【作品C】*					11:00
12:00		マルシェ	ワークショップ	山中温泉 芸術散歩		12:00
13:00	【作品A】*					13:00
14:00						14:00
15:00						15:00
16:00						16:00
17:00						17:00
18:00	詩劇「四季の舞」			夜のインスタレーション		18:00

エナジー風呂フィルムフェスティバルの上映作品は裏面参照 (作品Fは各作品の前に上映)
 ■は上映後にポストトークあり

新・山中温泉文化絵巻 ———— 小さな、はじまりの芸術祭

山中温泉は開湯1300年の歴史を誇る、古来より多くの人々を惹きつけてきた名湯だ。天平の名僧行基によって発見され、長谷部信連によって再興されたこの温泉は、日本海に注ぐ大聖寺川の段丘面に位置している。地域の宝である「総湯」を中心に、山中の温泉文化は戦国時代や江戸時代に訪れた多くの人びとによって育まれてきた。温泉と共に名高い漆器産業も、訪れた旅人たちとの交流から生まれた文化の一部だ。大正から昭和の戦後期には山中に根づいた「山中節」が全国的に知られるようになり、北陸屈指の温泉観光地としての地位を確立した。近年では観光の動向が変化しつつあるが、長い歴史に裏打ちされた温泉文化や地域の芸能、工芸技術はなおも魅力を放っている。現在、国内外のクリエイターや若い起業家が新たな山中温泉文化を創造しつつある。このような背景のなか「新・山中温泉文化絵巻」が開催される。多彩なプログラムやアート作品を通じて、山中温泉の文化を体感し、過去の歴史と現在の息吹を感じられる場がうまれる。山中座では、現代屈指の舞踏家と山中座芸妓の共演で四季の美しさと温泉文化が舞台上で一つの絵巻物のように展開される。「エナジー風呂フェスティバル」では、カン・タムラのドキュメンタリー『YAMANAKA』のプレミア上映をはじめ、アートと温泉文化にまつわる映像作品を上映。医王寺や長谷部神社、鶴仙溪などの名所にも、8組のアーティストたちによる現代美術作品が点在し、芸術散歩を楽しむことができる。山中座周辺では地元住民によるワークショップやマルシェが開催され、多彩な催しで賑わう。踊り、映画、アート散歩、マルシェが融合した五感を刺激する4日間をお楽しみください。